

〔駐村研究員だより〕

むらの生活

——この頃考えること——

(駐村研究員) 岡田 新作

近年のむらびとは、農業に対して極めて自信を失っている。都市側からの農政批判、外圧等今まで経験したことのない大きなウネリがその原因の一つであることは間違いないと思うが、その基礎に次のような事情があると思う。

- ① 生産性：工業と比較して低い。
- ② 技術開発力：テンポが遅い。開発のための資本力に限界。
- ③ 利便性：都市部と比較して極めて劣る。
- ④ 政治：票数が少なく、力となり得ない。

こうした中にあっても、いわゆるリーダーと称される人たちは、我を忘れて頑張っている。正直に言って、この報いがあるのであろうか。どこに帰結させれば良いのか、不安に感じているこの頃である。

別紙(1)は、S集落(55世帯)の中堅リーダー(40歳)の平成2年度の日誌から調べていただいた記録である。都市生活者から見ると、大変無駄が多いとの批判もあろうが、これが本当のむらの生活である。

なお、別紙(2)は、S集落の皆が持分に応じて担っている役割の一覧表である。

産業としての農業に限界が見えてきた中においても、これ以上の人口減少を防ぎ、集落の自治機能を維持するため、なんとか産業興しを、と考えた結果がリゾート開発となっている。しかし、最近になって、このリゾート開発の前段として行われるイベント等に疲れが見える気がする。

この原因は、そもそも最初に述べたように、生産性、利便性、技術開発力、政治力等にお

いて明らかに優っている都市部を選択した人々の目を、再度農村部に向かせようとするところに困難があるのであって、それをさらに完遂しようとする、最終的には資本力の競争となるからである。

したがって、私見であるが、周辺町村と比較して余程の有意差があり、それがリゾートたりうるパワーのある地域(たとえば日本最南端の本格的スキー場がある村としての芸北町)以外でそのパワーを創造するには、相当の資金力と企画力を覚悟しないと、この実現は困難と思われる。

農村部の人々は、いま都市住民との交流を始めようとしている。農村側は決して高慢になつてはならないけれども、それにもまして卑下する必要はない。卑下した態度からは永續性は望めない。

昨今のレジャーブームはサラリーマン等の休日の増加に起因するが、給料は増えたわけではない。

- ① 高額な費用を要するレジャーに出かけるのは年間2～3回が限度であろう。
- ② 残る休日はなるべく費用を少なくし、理想的には自分の趣味を生かしつつフレッシュできるものを求めることとなる。

受入側としては、①は資本の競争となろうし、②は一定のルールのもとに開放されたエリアと簡易な宿泊施設(セカンドハウス)等が必要となろう。

しかし、ここで都市住民が②を選択し、これが農村部である場合、さきに述べた村の生活または村の果たしている役割を今一度都市

生活者に理解を求めることが先ず必要ではないか、そのため農村側はPRのための労力を惜しんではならないと思う。その上で、理解の得られた都市生活者とともに、山村の振興

策を考えることができれば、と思っている。

昨今の私の気持ちをそのままご報告した次第です。

別紙(1)

月 日	諸 行 事	月 日	諸 行 事
1. 1	上組新年会	6	〃
11	5・6年保護者会	8~14	ロッジ補修
12	20~30代会	17	P T A
17	ふるさと創生会議	18	ロッジ補修
22	農用地高度利用推進委員会	21	〃
23・24	島の子供との交流会	22	〃 , 集落役員会
29	ロッジ決算会	23	民宿組合総会
30	農業委員会	24	道刈, 川刈, 道路整備
2.		25	神楽打合せ
		27	水路掃除
		6. 29	農業委員会
		7. 5~7	ロッジ補修
3. 1	葬儀	9	神楽練習
6	ふるさと創生会議	16	P T A終業式
7	集落役員会	19	地区対抗ソフト
8	同和研修会	22	町内少年ソフト大会
20	6年生謝恩会	23	神楽練習
24	〃 卒業式	26	山県地区スポーツソフト大会
4. 6	入学式	28	P T A懇親会
19	P T A総会	29	聖墓, 馬頭講
21	生産組合及びK・Kサイオート総会	30~31	島の子との交流会
28	生産森林組合総会	8. 1	P T A地区懇談会
30	小学校運動会	8	地域農業集団研修会 (OP)
5. 12・13	ドングリシンボジウム	9	P T A映画会
17	家庭教育学級運営委員会	17	同和研修会
20	神楽団打合せ	18	子供会
25	スポーツ少年団練習	19	町内P T A集会
6. 1	K・Kサイオート役員会	25	ゲートボール大会
3	隣組家解き	29	八作祭り
4	P T A役員会	30	農業者年金相談会

月 日	諸 行 事	月 日	諸 行 事
9. 2	聖湖一周マラソン大会	11. 1	神楽準備
3~6	農業委員研修会	2	のぼり立て
9	中学校運動会	3	隣村へ神楽
14	子供神楽練習	4	のぼりたおし 衣装収納
16	小学校運動会	7	スキー場 貸付山の境界確認
30	国勢調査	8~11	集落有林の枝打ち
10. 1~3	“ 回収	15	子供神楽
4	交通調査（県道）	17	恵比須祭り
5	山道刈り	18	交通量調査
6	国勢調査とりまとめ報告	21	町神楽団総会
11	子供神楽	30	農業委員会
14	藤沢葬儀	12. 2	芸北スポーツ少年剣道大会
16	宮当番打合せ会	3	集落決算会
19	子供神楽	8	集落総会
10. 22	神楽練習	9	集落有林の植林
23	農業委員研修会 夜同和研修会	10	ふるさと創生打合せ会
24	P T A 郡研修会	11	葬儀 民宿組合総会
28	神事（やくばらい）	14	農業委員研修会
29	農業委員研修会	18	P T A 役員会
30	しめ打ち	26	農業委員会
31	農業委員会 神楽切り飾り		

別紙(2)

役 職 名	人数	業 務
集落常会役員	5人	(集) 最終決定機関
農業生産組合 理事	8	(集) 組織運営
〃 OP	14	(集) オペレーター
生産森林組合理事	8	(集) 組織運営, 組合有林 300haの育林作業等
農 協 総代	3	(町) 〃
〃 理事	1	(町) 〃
生産部会 野菜	1	(町) 生産振興, 出荷
〃 和牛	1	(町) 〃
森林組合 総代	4	(町) 組織運営
〃 理事	1	(町) 〃
土地改良区 総代	1	(町) 〃, 道水路管理
〃 理事	1	(町) 〃
農業共済推進員	4	(町) 農業災害
農業委員	1	(町) 農地利用, 農業者年金
農用地高度利用推進員	1	(集) 〃
神楽団	9	(集) 神楽奉納
老人会 役員	3	(集) コミュニケーション
青年会 〃	1	(集) 〃
婦人会 〃	3	(集) 〃, 研修会
消防団員(男)	11	(町) 災害対策
〃 (女)	10	(町) 〃
衛生推進員	1	(町)
神社総代	4	(集) 神社管理
子宮世話役	7	(集) 〃
寺総代	3	(集) 寺管理運営
御堂総代	3	(集) 御堂 〃
小学校役員	4	(7集落)
中学校役員	4	(町)
町議会議員	1	(町)
同和推進員	5	(集)
民生委員	1	(集) 老人対策
テレビアンテナ	4	(集) 共聴アンテナ維持管理
体協役員	1	地区民スポーツ等

注. (集)は集落, (町)は町単位の組織.